

おもちゃ修理でほっこり笑顔 「柿生おもちゃ病院」



おもちゃのピアノの音色やぬいぐるみのネコの鳴き声など、なんだか懐かしい音が聞こえる中、おもちゃドクターの皆さんが治療に精を出しています。この日は柿生おもちゃ病院(本院)の開催日。たくさんのおもちゃの入院患者が治療を受けています。おもちゃ病院では、壊れたり動かなくなったおもちゃを持っていくと、おもちゃドクターが診断・治療をしてくれます。費用は部品代などの実費のみ。おもちゃを診てくれるドクターたちはボランティアです。

柿生おもちゃ病院の歩み

スタートは平成28(2016)年。「これまでの恩返しとして川崎市に何か貢献できないか。自分のできることで、子どもたちが喜ぶことを」と考えていた院長の堀忠男さんは、日本おもちゃ病院協会(本部・東京)の養成講座を修了し、インターン期間を経て、友人の上条正雄さんと二人で、麻生区の柿生分庁舎を会場におもちゃドクターのボランティア活動を始めました。でも、おもちゃ病院のことを知っている人はわずか。まずはおもちゃ病院を知ってもらおうと、チラシを配るなどの広報活動をしました。おもちゃ修理の技術も試行錯誤しながら二人でやっているうちに、ドクター仲間も増え、活動が広がっていきました。現在は川崎市内6カ所でおもちゃ病院を開催し、11名のおもちゃドクターが活動しています。

市販のおもちゃのスイッチを自分で操作することが難しい障がいの重い子どもたちのために、「障がい児の遊び支援活動」にも取り組んでいます。おもちゃにジャック(外部スイッチ用端子)を取り付け、子どもの障がいに応じたスイッチユニットをつなぐことで、自分で操作して遊べるおもちゃを増やす活動です。スイッチユニットを製作することもあるそうです。

■ 柿生おもちゃ病院(本院)

麻生区役所柿生分庁舎

毎週土曜日 13時~16時

院長 堀 忠男 電話 080-5535-0835

(分院) 二子おもちゃ病院(二子子ども文化センター 第1土曜日10時~12時)

錦ヶ丘おもちゃ病院(錦ヶ丘子ども文化センター 第2土曜日10時~13時)

柵形おもちゃ病院(柵形子ども文化センター 第3土曜日10時30分~15時)

日進町おもちゃ病院(日進町子ども文化センター 第3土曜日10時~12時)

宮崎おもちゃ病院(宮崎子ども文化センター 第4土曜日10時~14時)

柿生の本院を拠点に多くのおもちゃを救う

治療(修理)するおもちゃの数は、6カ所全体で月に約50件、イベントでは一日の上限を30件に設定しています。令和5年度は年間710件のおもちゃを治療しました。部品代は平均200~300円くらいとのこと。

分院の開催は月1回なので、対応しきれないおもちゃは入院となり、担当ドクターが毎週開催している本院に持ってきます。取材日は、午前中に開催していた二子おもちゃ病院から18個のおもちゃたちがやって来ました。

おもちゃにはいろいろな種類があるので、故障も様々。今は電気系統の故障が多いので、修理をするために電気の勉強をしたり、おもちゃ病院の仲間に教えてもらったりと、ドクターの皆さんは日々技術の向上に努めています。よく分からないおもちゃは周りの人に聞きながら修理し、部品がなくても3Dプリンター(なんと所有しているドクターがいるのだそうです)で作るので、ほとんどのおもちゃの修理ができ、96%と、高い完治率を誇ります。



人に喜んでもらえて嬉しい 自分の技術が上達して楽しい

おもちゃの診断・治療は、おもちゃを持ち込んだ方に「どうして壊れちゃったの?」などと話しかけながら、ほとんど目の前で行います。院長の堀さんは、「お子さんたちとの触れ合いがいちばんの楽しみです。それから、修理できたときの達成感もあります」と、おもちゃドクターの魅力を話してくださいました。「こんな感謝状が来るんですよ」と、かわいらしい手紙も見せてくださいました。

治す人も治してもらおう人も嬉しい、楽しい、おもちゃ病院。ドクターの皆さん、お体に気を付けて、これからもたくさん笑顔を作り出してください!



イベント出展のお知らせ

「ごえん楽市」

主催：公益財団法人かわさき市民活動センター

開催日：11月16日(土曜日)

場所：中原市民館

(最寄り駅 武蔵小杉)



予約不要です。
お気軽に
遊びに来てね♪